

<人間看護学科> (認定課程:養護教諭一種免許状)

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	第1学期	○論理的・倫理的思考、社会の変動に対応できる基礎的能力を身につけている。また専門支持科目、専門科目の学びを通して、対象となる人間についての知識と看護の基礎技術を修得している。
	第2学期	○地域活動にふれ、地域で生活する人と社会について学びを深め、学校保健の位置づけと保健活動の基本について理解している。さらに人間的・倫理的にかかわりができる感性を磨くため、自分自身について意識を深める。
2年次	第1学期	○教育の理念をその思想と歴史を通して学び、教職の意義及び教員の担うべき役割と職務内容、学校教育を支える制度的な諸条件に関する基本的な知識、さらには特別支援教育の理念や位置づけについて学修することで、教職をめざすものとしての基礎を身につけている。 ○養護実践の基盤となる人・健康・環境・看護実践に関する専門支持科目、専門科目を学び、専門科目では、病態や治療についての基礎を理解している。病院、まちの保健室などで展開される実習を通して人と人との関係を築く力が身につけている。
	第2学期	○教育課程や教育の方法及び技術についての学びを通して、保健指導に関する実践力の基礎を養う。また子どもの発達や教育相談について理解を深め、児童・生徒理解に関する基礎的理論と支援方法を身につけることができる。 ○地域連携のあり方を知り、人と人との関係性を作る力が身につけている。実践を通して人に向き合い、看護、養護の対象となる人について探究することを通して、養護実践の基礎となる能力を修得している。
3年次	第1学期	○道徳教育の意義と指導法や特別活動の教育課程上の位置づけと諸分野を学ぶことを通して、それぞれの教育内容について理解することができる。またこれまでに学んだ基礎的な理論・技術及び獲得した指導法をもとに、保健指導や生徒指導の実践力を身につけている。 ○看護の対象となる人とその家族、状況を理解している。看護の基盤となる人間・健康・環境・看護実践を学び、地域連携の機能を熟知し、その一部を駆使して人と人との関係性を作る力、判断する力、意思決定する力、行為する力が身につけている。養護教諭の職務について基礎的な内容を学び、養護実践について具体的に理解している。
	第2学期	○これまでの学びをもとに、「養護実習」において学校教育の実際について観察・参加・実習を行い、指導者という体験をもとに教職への意欲を高め、教育に関する技術等を修得するとともに、理論と実践の往還によって実践的指導力を身につけることができる。 ○臨床の場での実習を通して、養護の対象である児童生徒の発達段階や成長過程について理解を深め、多様な保健室の役割、多職種と協働する方法、調整力やマネジメント力を高めるための方法を具体的に修得している。
4年次	第1学期	○これまでの学びをもとに、「養護実習」において学校教育の実際について観察・参加・実習を行い、指導者という体験をもとに教職への意欲を高め、教育に関する技術等を修得するとともに、理論と実践の往還によって実践的指導力を身につけることができる。 ○教育の場での実習を通して、養護の対象である児童生徒の発達段階や成長過程について理解を深め、多様な保健室の役割、多職種と協働する方法、調整力やマネジメント力を高めるための方法を具体的に修得している。
	第2学期	○4年にわたる「学びの軌跡の集大成」と位置づけられる「教職実践演習」において教員になる上での課題を自覚し、不足している知識や技能を補い、その定着を図ることで、次年度からの教職生活に備える。 ○学校保健活動の推進者としての養護教諭の役割や専門性について理解を深め、実践能力を修得している。教育実習での学びを発表することによって、養護教諭への志向性を高め、自分自身の課題について洞察できる。